

学校名	唐津市立第一中学校																																												
1 前年度 評価結果の概要	・前年度の取組として、学校行事への生徒たちの真剣な取組と保護者の協力、学校側のはなまる連絡帳による細かな発信、リアルな配信等、保護者や地域への広報に力を入れ、一定の評価を得ることができた。学校運営協議会の中では、生徒・保護者のニーズやよいことだけでなく、気になる点についても掘り起こす必要があるとの意見をいただいた。一方で、学校のリソースは限られており、業務改善が求められている現状でもある。地域の中にある学校という視点で、地域、家庭と学校が連携・分担・協働し教育活動を推進していくことが求められる。 ・学校評価アンケートによる「学校生活は充実していると思いますか」で生徒の肯定的回答生徒96%、「第一中学校に入学させてよかったと思いますか」で保護者の肯定的回答93%の結果から、学校への期待と信頼を得ていると捉える。一方で、学力定着への不安が生徒、保護者から聞こえる。次年度から唐津市における学力向上研究校として、更なる家庭の理解と協力や地域からの支援、教職員の日頃の対応や指導の成果を求めながら課題への取組に努めていく。																																												
2 学校教育目標	一中大好き ～感謝・感動・開拓～ ●めざす学校像「明日も来なくなる学校」「誰一人取り残さない学校」 ●めざす生徒像「意欲的に学ぶ生徒」「礼・心をつくす生徒」「元気ハツラツな生徒」																																												
3 本年度の重点目標	①生徒が意欲的に学ぶために、わかる授業を展開するとともに家庭学習の充実を図る。 ②礼・心をつくす生徒を育てるために、自己肯定感を高める活動を取り入れたり、思いやりの育成をねらう取組を考えたり、地域を愛し地域と繋がる活動を展開する。 ③元気ハツラツな生徒を育てるために、体力向上の推進や安全教育の充実を図る。																																												
4 重点取組内容・成果指標																																													
(1)共通評価項目																																													
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td>●学力の向上</td><td>○生徒が主体的に学びに向かうための単元構想・授業実践</td><td>○生徒対象の学習に関するアンケートを行い、肯定的回答を70%以上。</td><td>・単元全体の見える化、ふりかえりの充実を図り、生徒の学習に対する主体性を育む。 ・個別最適な学びと協働的な学びにより一層の充実を図る。</td></tr><tr><td rowspan="4">●心の教育</td><td>●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動</td><td>○生徒対象に道徳評価アンケートを学期ごとに実施し、肯定的回答85%以上をめざす。</td><td>・内容の精選を行い、各学年の様子や行事等に応じた内容を組み立てる。 ・学期ごとにアンケートをとり、学習内容の振り返りと定着を行う。</td></tr><tr><td>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</td><td>○学校評価アンケートでいじめの防止・早期対応の取り組みに関する肯定的回答が生徒85%以上、保護者90%以上。</td><td>・毎学期に職員研修会、毎月の生活アンケート、定期的な教育相談等を実施し、早期発見・早期対応の充実を図る。</td></tr><tr><td>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための教育活動</td><td>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上。</td><td>・学校行事や生徒会活動、ボランティア活動に参加し、頑張っていた生徒を紹介する場を全校、学年、学級の中に設け、自己肯定感の向上に努める。 ・進路講演会や職場体験等を自分の将来について具体的に考え、交流する場とする。</td></tr><tr><td>○「いのちの大切さを考える」取組</td><td>○「いのちの大切さについて考えることができた」と肯定的回答した生徒の割合80%以上。</td><td>・本校に在籍しながらも白血病に苦しみ、12歳で亡くなった生徒の命日にあわせ、5月19日に全学年で「いのちの大切さを考える」取組を行う。</td></tr><tr><td rowspan="2">●健康・体づくり</td><td>●安全に関する資質・能力の育成</td><td>○学校安全に関する学習後や避難訓練等の感想から、理解の促進や学習の大切さを述べている生徒の割合が90%以上。</td><td>・事前学習の充実や、水害・火災・台風・大雪など様々な緊急時を想定した危機回避能力を身につける安全教育を推進するため、身近な事例を取り上げて学びの充実を図る。</td></tr><tr><td>○望ましい生活習慣の形成</td><td>○「メディア等の使用について家族で話し合い、ルールを設けている」と肯定的な回答をした保護者90%以上。</td><td>・コミュニティスクールの取組を中心として、小・中学校が協働でメディアの使い方について考える日を設定。</td></tr><tr><td rowspan="2">●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td><td>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</td><td>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。</td><td>・行事内容の見直し、校時程の見直し、校務分掌の業務分担の平準化を進める。</td></tr><tr><td>○職員間の共有を図る手段の工夫</td><td>○「あなたの時間外在宅時間は昨年より減少したと思いますか」の項目で、肯定的回答80%以上。</td><td>・「はなまる連絡帳」の活用を通して、職員への共有を図り、可能な限り職員集合の回数等を減らす。</td></tr><tr><td>●特別支援教育の充実</td><td>○生徒が安心して学習できるという意識の向上</td><td>○「安心して学習できる」と回答する生徒60%以上。</td><td>・個々の生徒に関する情報共有の充実化、支援計画の確認、保護者との細かい連携、授業カリキュラムの見直し。</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	●学力の向上	○生徒が主体的に学びに向かうための単元構想・授業実践	○生徒対象の学習に関するアンケートを行い、肯定的回答を70%以上。	・単元全体の見える化、ふりかえりの充実を図り、生徒の学習に対する主体性を育む。 ・個別最適な学びと協働的な学びにより一層の充実を図る。	●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○生徒対象に道徳評価アンケートを学期ごとに実施し、肯定的回答85%以上をめざす。	・内容の精選を行い、各学年の様子や行事等に応じた内容を組み立てる。 ・学期ごとにアンケートをとり、学習内容の振り返りと定着を行う。	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートでいじめの防止・早期対応の取り組みに関する肯定的回答が生徒85%以上、保護者90%以上。	・毎学期に職員研修会、毎月の生活アンケート、定期的な教育相談等を実施し、早期発見・早期対応の充実を図る。	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上。	・学校行事や生徒会活動、ボランティア活動に参加し、頑張っていた生徒を紹介する場を全校、学年、学級の中に設け、自己肯定感の向上に努める。 ・進路講演会や職場体験等を自分の将来について具体的に考え、交流する場とする。	○「いのちの大切さを考える」取組	○「いのちの大切さについて考えることができた」と肯定的回答した生徒の割合80%以上。	・本校に在籍しながらも白血病に苦しみ、12歳で亡くなった生徒の命日にあわせ、5月19日に全学年で「いのちの大切さを考える」取組を行う。	●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	○学校安全に関する学習後や避難訓練等の感想から、理解の促進や学習の大切さを述べている生徒の割合が90%以上。	・事前学習の充実や、水害・火災・台風・大雪など様々な緊急時を想定した危機回避能力を身につける安全教育を推進するため、身近な事例を取り上げて学びの充実を図る。	○望ましい生活習慣の形成	○「メディア等の使用について家族で話し合い、ルールを設けている」と肯定的な回答をした保護者90%以上。	・コミュニティスクールの取組を中心として、小・中学校が協働でメディアの使い方について考える日を設定。	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	・行事内容の見直し、校時程の見直し、校務分掌の業務分担の平準化を進める。	○職員間の共有を図る手段の工夫	○「あなたの時間外在宅時間は昨年より減少したと思いますか」の項目で、肯定的回答80%以上。	・「はなまる連絡帳」の活用を通して、職員への共有を図り、可能な限り職員集合の回数等を減らす。	●特別支援教育の充実	○生徒が安心して学習できるという意識の向上	○「安心して学習できる」と回答する生徒60%以上。	・個々の生徒に関する情報共有の充実化、支援計画の確認、保護者との細かい連携、授業カリキュラムの見直し。
重点取組			具体的取組																																										
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)																																											
●学力の向上	○生徒が主体的に学びに向かうための単元構想・授業実践	○生徒対象の学習に関するアンケートを行い、肯定的回答を70%以上。	・単元全体の見える化、ふりかえりの充実を図り、生徒の学習に対する主体性を育む。 ・個別最適な学びと協働的な学びにより一層の充実を図る。																																										
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○生徒対象に道徳評価アンケートを学期ごとに実施し、肯定的回答85%以上をめざす。	・内容の精選を行い、各学年の様子や行事等に応じた内容を組み立てる。 ・学期ごとにアンケートをとり、学習内容の振り返りと定着を行う。																																										
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートでいじめの防止・早期対応の取り組みに関する肯定的回答が生徒85%以上、保護者90%以上。	・毎学期に職員研修会、毎月の生活アンケート、定期的な教育相談等を実施し、早期発見・早期対応の充実を図る。																																										
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上。	・学校行事や生徒会活動、ボランティア活動に参加し、頑張っていた生徒を紹介する場を全校、学年、学級の中に設け、自己肯定感の向上に努める。 ・進路講演会や職場体験等を自分の将来について具体的に考え、交流する場とする。																																										
	○「いのちの大切さを考える」取組	○「いのちの大切さについて考えることができた」と肯定的回答した生徒の割合80%以上。	・本校に在籍しながらも白血病に苦しみ、12歳で亡くなった生徒の命日にあわせ、5月19日に全学年で「いのちの大切さを考える」取組を行う。																																										
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	○学校安全に関する学習後や避難訓練等の感想から、理解の促進や学習の大切さを述べている生徒の割合が90%以上。	・事前学習の充実や、水害・火災・台風・大雪など様々な緊急時を想定した危機回避能力を身につける安全教育を推進するため、身近な事例を取り上げて学びの充実を図る。																																										
	○望ましい生活習慣の形成	○「メディア等の使用について家族で話し合い、ルールを設けている」と肯定的な回答をした保護者90%以上。	・コミュニティスクールの取組を中心として、小・中学校が協働でメディアの使い方について考える日を設定。																																										
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	・行事内容の見直し、校時程の見直し、校務分掌の業務分担の平準化を進める。																																										
	○職員間の共有を図る手段の工夫	○「あなたの時間外在宅時間は昨年より減少したと思いますか」の項目で、肯定的回答80%以上。	・「はなまる連絡帳」の活用を通して、職員への共有を図り、可能な限り職員集合の回数等を減らす。																																										
●特別支援教育の充実	○生徒が安心して学習できるという意識の向上	○「安心して学習できる」と回答する生徒60%以上。	・個々の生徒に関する情報共有の充実化、支援計画の確認、保護者との細かい連携、授業カリキュラムの見直し。																																										
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																																													
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>重点取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td>○学力の向上</td><td>○単元を貫く課題設定の工夫。</td><td>○「あなたは授業が分かりますか」の問いに対する生徒の肯定的な回答85%以上。</td><td>・「書くこと」の課題の充実を図る。 ・協働的な学びを推進するためのグループ活動の充実。 ・個別最適な学びを推進するためのICT活用。</td></tr><tr><td>○生徒指導</td><td>○規範意識の向上と自己管理能力(自主性)の育成</td><td>○学校評価アンケートで学校や社会のルールを守っていると回答した生徒90%以上。</td><td>・生徒心得「初心」の全校読み合わせ時間の設定。 ・教員と生徒会による毎朝の立腰放送。 ・日々の声掛けと家庭との密な連携。</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	○学力の向上	○単元を貫く課題設定の工夫。	○「あなたは授業が分かりますか」の問いに対する生徒の肯定的な回答85%以上。	・「書くこと」の課題の充実を図る。 ・協働的な学びを推進するためのグループ活動の充実。 ・個別最適な学びを推進するためのICT活用。	○生徒指導	○規範意識の向上と自己管理能力(自主性)の育成	○学校評価アンケートで学校や社会のルールを守っていると回答した生徒90%以上。	・生徒心得「初心」の全校読み合わせ時間の設定。 ・教員と生徒会による毎朝の立腰放送。 ・日々の声掛けと家庭との密な連携。																											
重点取組			具体的取組																																										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)																																											
○学力の向上	○単元を貫く課題設定の工夫。	○「あなたは授業が分かりますか」の問いに対する生徒の肯定的な回答85%以上。	・「書くこと」の課題の充実を図る。 ・協働的な学びを推進するためのグループ活動の充実。 ・個別最適な学びを推進するためのICT活用。																																										
○生徒指導	○規範意識の向上と自己管理能力(自主性)の育成	○学校評価アンケートで学校や社会のルールを守っていると回答した生徒90%以上。	・生徒心得「初心」の全校読み合わせ時間の設定。 ・教員と生徒会による毎朝の立腰放送。 ・日々の声掛けと家庭との密な連携。																																										